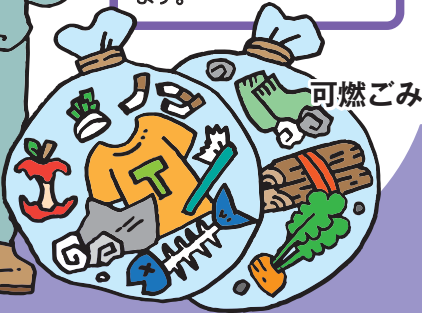


家庭ごみのリサイクル

リサイクルの流れ



家庭から出た燃えるごみは、燃やしたあとに出た灰をさらに高温で溶かすことによって、砂の代わりになる土木資材としていろいろなことに利用されています。



可燃ごみの収集作業



ごみ焼却処理施設へ



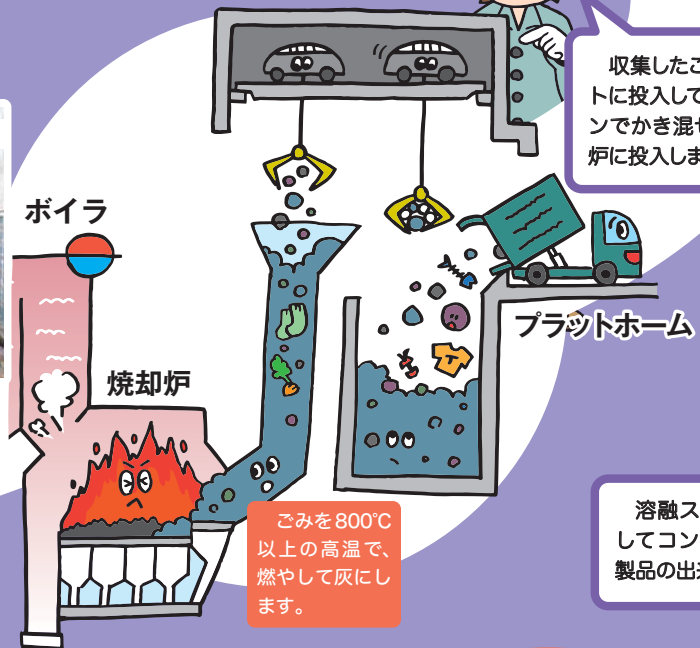
焼却炉内部



焼却状況



焼却灰

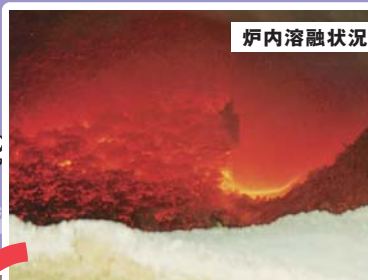


収集したごみをごみピットに投入して、ごみクレーンでかき混ぜてから焼却炉に投入します。

ごみを800℃以上の高温で、燃やして灰にします。

熔融スラグを材料にしてコンクリート2次製品の出来上がり！

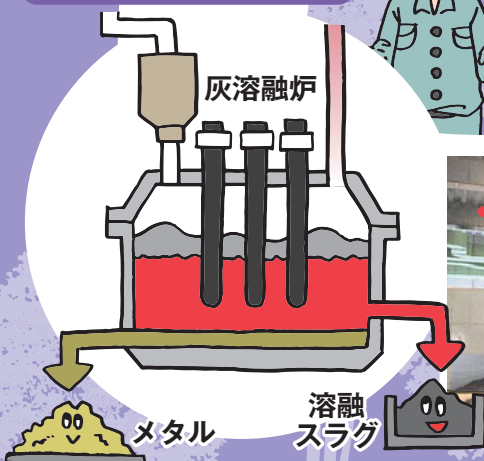
焼却灰は、灰溶融炉でさらに1200℃以上の高温で燃やすと溶けてどろどろになります。それを冷やし固めると砂状の熔融スラグと呼ばれるものになります。



炉内熔融状況



熔融スラグ



緑石

緑石類



U型側溝



V型側溝

砂の変わりにも使えるよ。